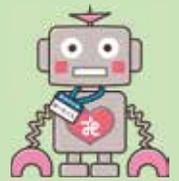


みんなで育む安心のまち「おたがいさま」と「少しのおせっかい」

社協やす

令和6年(2024年) 9月号

No.104



野洲市社協キャラクター
「はーとくん」



いざという時のために。

「日頃の備え」 できていますか？



令和6年 能登半島地震 石川県七尾市災害ボランティアセンターにて

発行：  **野洲市社会福祉協議会**

〒520-2423 野洲市西河原2400番地 電話：077-589-4683 FAX：077-589-5783

E-mail：fukushi@yasu-syakyo.or.jp ホームページ：https://yasu-syakyo.or.jp



ホームページ



Facebook



LINE



Instagram

発行年月日：令和6年9月15日

 この広報誌は、一部赤い羽根共同募金の配分金で作成しています。

令和6年 能登半島地震 被災地支援報告

令和6年1月1日、石川県能登半島付近を震源として最大震度7の地震が発生し、能登半島全域をはじめ、広い範囲で甚大な被害が生じました。全国組織である社会福祉協議会では各地区ブロックに分かれて被災地支援をしています。近畿ブロックでは石川県七尾市を支援することになり、野洲市社協からは4名の職員を派遣し災害ボランティアセンターの運営支援を行いました。(3/28~4/3、5/3~5/9、5/19~5/25、6/16~6/22)



【七尾市災害ボランティアセンター運営支援の様子】

災害支援での気づき

日頃やっていないことは災害時にもできない

☆日常の地域福祉活動

『見守り・支え合いネットワーク』が必要

- 日常の地域課題を把握していないと災害時も住民の困りごとが見えない
- 地域のさまざまな社会資源（特に人財、組織）を知らないと地元のつながりを活かさない

地域での見守り・支え合い活動や気にかける関係を広げよう

見守り・支え合いネットワーク「実践編」その②

～ 誰にも相談できず一人で抱え込んでいる人をなくしたい～

『見守り・支え合いの活動で大切にしたいこと』

- 年齢や属性を区切らずに「気になる人」を気かけよう
- 見守り・支え合いはおたがいの「信頼関係」から
- 見守り・支え合いを通じた「福祉のまちづくり」地域オリジナルを大切に！



野洲市社協では地域での見守り・支え合いネットワークを広げるため、地域の皆さんとの話し合いを進めています。

7/4 篠原学区自治会長、 民生委員・児童委員合同懇談会



参加者の
声より

- 草刈り、農業組合、サロンなど地域の方が集まる場が多くある。その場を利用して自然と近所の気になる人の話しになっている。
- 地域のイベントに関わってもらうことで、住民同士の繋がりができている。
- 訪問するきっかけや用事があればよいが、何もなく訪問すると見守りが見張りにならないか。
- 1年に2～3軒のペースで一人暮らしの高齢者が増えている。

7/7 北野学区自治会長、 民生委員・児童委員合同懇談会



参加者の
声より

- 自治会役員と民生委員の交流の場をもっていただけたらと思う。
- 住民が犬の散歩している時間に、自分も散歩するように意識していて、いつもいる人がいるかなと気にしている。
- サロンやサークル的な集まりもあるが、何も参加しないような接触する機会がない人の把握をどうしていくか、どう対応するかが課題。

2024

地域でボランティア 応援講座

定員
各20名

「何か自分にできることはないかな」とお考えの方にボランティア講座のお知らせです！特技を学んでボランティア活動を始めませんか？

ご興味のある講座から参加OK！お友だちを誘ってお気軽にご参加ください😊

第1回

【日時】 10月3日（木）10：00～11：30
【場所】 コミセンぎおう
【内容】 バルーンアート制作体験
【講師】 バルーンアートふうせん



第2回

【日時】 10月29日（火）10：00～11：30
【場所】 コミセンなかさと
【内容】 玉すだれ・皿まわし体験
【講師】 レク・すだれ
※第2回講座のみ会場が異なります。



第3回

【日時】 11月7日（木）10：00～11：30
【場所】 コミセンぎおう
【内容】 ハンドベルを奏でてみよう♪
【講師】 ベルフラワーズ



申込み・問い合わせ **野洲市社会福祉協議会**

TEL 077-589-4683 FAX 077-589-5783
E-mail : tiiki@yasu-syakyo.or.jp

野洲市ボランティア 連絡協議会です

加入しているボランティアグループさんを紹介します

要約筆記サークル チェリー

【定例会日時】 毎月第2、第4火曜日
13：30～16：00

【場 所】 コミセンなかさと

【主な活動】 聴覚障がい者の支援ボランティア
聴覚障がい者との親睦・交流
要約筆記の学習
(筆談・ノートテイク、手書き要約筆記・パソコン要約筆記)
手話の学習



グループ
PR

聴こえない人に、その場の話の内容を伝える通訳のための要約筆記の技術向上の学習をしています。
会員募集していますので、興味のある方はぜひご相談ください。



滋賀県レイカディア大学 第45期生だより

その③

野洲市在住の第45期生の皆さんが毎回交代で登場します！

レイカディア大学入学後に地域活動としてボランティアグループ「レイカ野洲」に加入し、野洲図書館植樹や6月には「やすまる広場」に参加し、今までにない経験ができました。

また、社協の紹介により新たに野洲小学校の学校サポーターとして登録し、初めての活動は図書室の美化活動でした。若い保護者の皆さんとの作業は昔の図書室との違いに驚きがあり、休み時間には子ども達との「こんにちは」の挨拶のやり取りもうれしかった…。今後も野洲小学校で他のサポートも続けたいと思います。

レイカディア大学の健康についての授業では「フレイル」の言葉が印象深く、平均寿命で



はなく健康寿命の延伸が大事だと知りました。基礎講座は多種多様な内容で興味深く聴講し、私自身今更ながら脳が若返っているように感じています。

5月のニュースポーツ大会はクラス対抗のボッチャ競技で盛り上がり、7月の大学祭も各学科クラス中心に開催し、多くの来場者で盛況でした。行事ごとにクラスの絆も深まって、これからも忙しくも楽しい日々を過ごしたいと思います。

HARU

滋賀県レイカディア大学とは…

滋賀県社会福祉協議会では、人生100年時代を迎え、高齢者の社会参加への意欲の高まりに応え高齢者が新しい知識と教養を身につけ、地域の担い手として活躍できるよう支援するため滋賀県レイカディア大学を開設しています。昭和53年7月の開設以来、約6,500名以上が卒業し、それぞれの地域でボランティア活動や仲間づくりなどの地域活動を行っています。

問い合わせ **滋賀県レイカディア大学 草津キャンパス TEL：077-567-3901**

「おたがいさま」と「少しのおせっかい」の基本理念のもと、様々な事業に取り組みました。活動の詳細はこちらにも掲載しています。



1

重点事業

多様なつながりのある地域づくり・人づくり

子どもや高齢者といった世代や年齢に関係なく、そして、さまざまな障がいや生きづらさ、困りごとのある人など、誰もが社会とつながり、さまざまな参加のかたちにより地域でいきいきと活躍できる地域づくり・人づくりに取り組みました。



2

重点事業

第1次中長期経営計画の推進及び第2次中期経営計画の策定

本会の目指すべき姿を明確に示した「第1次中長期経営計画」に基づき、計画を実行していくための組織ガバナンスの強化、経営基盤の確立に取り組みました。

また、令和元年度から進行してきた第1次中長期経営計画が、令和5年度をもって計画期間が終了するため、これからの野洲市社会福祉協議会の経営方針を明確にするとともに、組織全体で課題を共有し、組織として一定の方針のもとに事業展開を図るため、第2次中期経営計画を策定しました。

3

重点事業

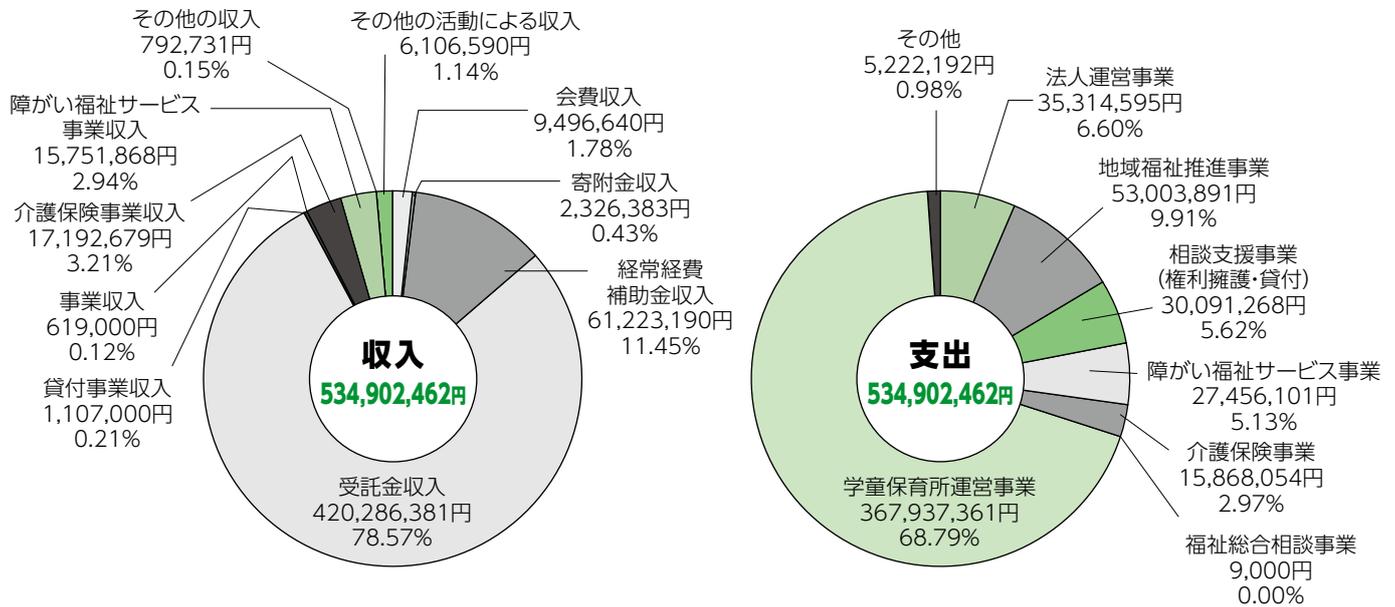
学童保育所の健全運営

保護者が共働き等により昼間家庭にいない児童に対し、放課後等に適切な遊び及び安心・安全な生活の場を提供し児童の健全育成を図りました。



社会福祉協議会 事業・決算報告

令和5年度 決算報告



社協会費ご協力のお願い

野洲市社協は地域福祉の推進を大きな使命としており、これまでから多くの市民の皆様にご参加、ご協力をいただきながら、誰もが住み慣れた地域でいつまでも幸せに暮らすことができる社会、思いやりのある福祉のまちづくりに向け、各種の福祉サービスや相談活動に努めているところです。

野洲市社協の会費は、皆様の地域や団体の福祉活動への支援をはじめ、様々な地域福祉活動推進のための財源となるもので、必要かつ大変重要なものです。

この趣旨にご賛同いただき、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

- ・一般会費 700円 (1口)
- ・特別会費 1,500円 (1口)
- ・賛助会費 5,000円 (1口)

野洲市社会福祉協議会 役員紹介

任期 令和5年6月27日から令和7年4月以降最初に招集される定時評議員会の終結の時まで

役職	氏名	選出区分	役職	氏名	選出区分
会長	立入 幸基	学識経験者	理事	山本 克巳	シルバー人材センター
副会長	東郷 恵子	学識経験者		富波 京子	赤十字奉仕団 野洲地区委員会
	木村 貞樹	自治連合会		北山 雅也	施設代表
常務理事	水谷 威彦	学識経験者		丸山 英明	施設代表
理事	田中 英樹	自治連合会		井出 徹哉	市福祉事務所
	兼岩 龍善	民生委員児童委員協議会	川東 静佳	学識経験者	
	新垣 重男	ボランティア連絡協議会	野洲喜代治	学識経験者	
	浅野 賢治	老人クラブ連合会	監事	阪口 博司	学識経験者(税理士)

(令和6年6月現在)



おしらせ版

令和6年度 歳末たすけあい募金配分事業のご案内

12月1日から12月31日までの1か月間、全国一斉に『歳末たすけあい運動』が展開されます。新たな年を迎えようとする時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう様々な福祉活動を展開していきます。

その運動の一環として、要保護世帯等支援事業および福祉のまちづくり助成事業を実施します。



要保護世帯等支援事業

対象世帯

●ひとり親世帯

18歳（高校3年生相当）までの子どもがいる、経済的支援を必要とする ひとり親世帯

●高齢者世帯

概ね75歳以上の一人暮らしや高齢者のみで生活されている、経済的支援を必要とする 世帯

●障がい児・者世帯

障がい児・者がいる 経済的支援を必要とする 世帯

※障がい児・者とは、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持している人

●その他、上記に準ずる世帯

申請方法

申請書に必要事項を記入の上、野洲市社会福祉協議会に提出してください。

各地域の民生委員・児童委員を通して提出することもできます。

申請書は、野洲市社会福祉協議会にあります。（ホームページからダウンロードも可。）

見舞金の配布

配分が決定した世帯には、各地域の民生委員・児童委員が訪問しご自宅にお届けします。

※申し込まれる世帯の情報（個人情報）は、担当の民生委員・児童委員に提供しますので、予めご了承ください。

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱された地域の身近な相談相手です。秘密は守られます。

福祉のまちづくり助成事業

助成対象団体・施設

- 特定非営利活動法人やボランティアなどの社会福祉活動団体
- 子育てを支援する団体
- 社会福祉法人および福祉施設
- その他、特に必要と認められる団体



申請方法

申請書に必要事項を記入の上、野洲市社会福祉協議会に提出してください。

申請書は、野洲市社会福祉協議会にあります。（ホームページよりダウンロードも可。）

【申請期間】 10月28日(月)～11月22日(金) 必着

【支給額等】 歳末たすけあい配分検討委員会にて決定します。

【問い合わせ】 野洲市社会福祉協議会 地域福祉課 TEL：077-589-4683 FAX：077-589-5783

赤い羽根共同募金運動が 始まります！



今年も10月1日より共同募金運動が全国的に開始されます。

毎年市内の各自治会、ご家庭、企業、職場、団体のみなさまには温かいご協力をいただき誠にありがとうございます。

みなさまからお寄せいただいたお気持ちは、野洲のまちを良くするための募金として様々な地域福祉活動に活用させていただきます。

みなさまのご協力をよろしく申し上げます。

母子・父子家庭ふれあい事業のご案内

琵琶湖博物館に 行こう！



琵琶湖の生態について、みんなで楽しく学びましょう！

日時 令和6年10月6日(日)
9:00~12:30

参加費
無料

場所 琵琶湖博物館
(集合場所：北部合同庁舎 ⇒ バスで移動します)

対象 市内在住のひとり親家庭の親子

定員 35名

問い合わせ・申込先 9月20日(金)までに野洲市社会福祉協議会

TEL 077-589-4683 FAX 077-589-5783

※申し込み多数の場合は抽選。抽選結果は9月24日(火)に連絡します。

皆様の温かい善意ありがとうございます

《金員の部》 (令和6年6月11日~令和6年8月10日 受付分)

匿名 7,000円
 有限会社 三王都市開発 100,000円
 遊林寺 10,000円
 株式会社 大生産業 343,456円
 匿名 938円
 田中 正尾 7,280円

《物品の部》

匿名 米 26kg
 匿名 米 50kg
 リフォーム同好会 布ぞうり
 匿名 チェーンソー他 農機具
 こども農園 夏野菜、じゃがいも 他

《指定預託》

ちゅうずこども食堂へ
 匿名 米 60kg
 市内こども食堂様へ
 JAレーク滋賀女性部 中主地区営農グループ かぼちゃ(伯爵)
 (敬称略)

温かい思いやりありがとうございました。有効に使わせていただきます。

義援金のお礼

温かいご協力をいただきありがとうございます。
 お寄せいただきました義援金につきましては、被災地へ全額をお送りし、被災地の方々の生活支援に役立てられます。

引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

日本赤十字社滋賀県支部 野洲市地区受付分

(令和6年8月10日現在)

受付中 (受付期間)	累計額
令和6年7月25日からの大雨災害義援金 (2024年12月27日(金)まで)	—
令和6年能登半島地震災害義援金 (2024年12月27日(金)まで)	1,203,594円

海外救援金の受付も行っています。
 詳細は野洲市社協ホームページをご覧ください。

介護者家族の会 懇談会のお知らせ

介護を必要としている人の家族や、介護に関心のある人たちが日頃の介護についていろいろな問題を共に解決していくために集まっています。

介護の相談や情報交換等を行い「一人だけじゃない」「仲間がいる」と参加者相互の親睦を深め、心身をリフレッシュします。皆さんの参加お待ちしております。

どなたでもお気軽にご参加ください。



問い合わせ 野洲市介護者家族の会 事務局 野洲市社会福祉協議会

TEL 077-589-4683 FAX 077-589-5783



比江自治会 (中里学区)

世帯数：362 高齢化率 (65歳以上の人口が占める率)：40.2%

令和6年8月1日現在

居場所を通じた見守り活動に積極的に取り組んでおられる比江自治会にお話を伺いました。

Q

現在どのような取り組みをされていますか。

A

民生委員を中心にボランティアと一緒に運営している、高齢者を対象にした百歳体操・お楽しみサロン・お出かけサロン・なごやかサロンがあります。その他に住民有志で運営している、年齢に関係なく参加できるほっとカフェがあります。

Q

年齢関係なくみんなが参加できる「ほっとカフェ」もやっておられるんですね。

A

名前の通り、世代の枠を超えてみんながほっとできる居場所・交流の場になるよう、誰でも参加できるようにしています。参加者同士が顔の見える関係になり、気にかけてたり助け合ったりできるつながりを作りたいという思いで開催しています。

夏休みには小中学生がボランティアで手伝ってくれたり、お母さんが参加していたからと若い世代の人も来てくれたりと、少しずつ輪が広がっているのを実感しています。月1回が基本ですが、開催のない月は「ほっとカフェだよ」を作り、参加者へお届けしています。



ほっとカフェスタッフの
手作りおやつ

Q

活動が広がっていった背景を教えてください。

A

住民から集まる場所がほしいと声があがったことを受け、サロンや百歳体操、さらにより多くの方が集まる場をつくらうとほっとカフェも始まり、今の形になりました。スタッフの多くが地域に貢献したい思いを持っており、楽しんでいただけるよう、スタッフ同士協力しながら進めています。

参加者からの「楽しみにしてる」「ありがとう」がとても力になっています。

Q

活動への思いを教えてください。

A

サロン活動などへ参加して、楽しく過ごし、「比江にいてよかった」と思ってもらえることが目標です。ほっとカフェでは、「みまもりフラット～あたたかいまなざしで～」を合言葉にしている、みんなが同じ立場で、お互いさまの気持ちで支え合うことができる地域にしていきたいと思っています。

今回、自治会長・民生委員・ほっとカフェ2名の方々に話を伺いました。「私たちが一番楽しんでるかも!」と笑顔でお話してくださいました。みなさんの思いが伝わり、住民みんなが楽しく、気にかけて合う関係が広がっていくことを応援していきます。



今年度のお出かけサロン

